

## 大学生におけるFacebookのプライバシー意識とその行動に関する研究 -青山学院大学社会情報学部生をケーススタディとして-

高橋 一哉<sup>†</sup> 上野 亮<sup>†</sup> 飯島 泰裕<sup>‡</sup>

青山学院大学大学院 社会情報学研究科<sup>†</sup> 青山学院大学 社会情報学部<sup>‡</sup>

### 1. はじめに

近年、我が国では、Facebook を始めとした SNS 利用における、個人情報流出とそれを起因としたトラブルが頻発している。SNS がより身近な存在になっていく中、プライバシーと個人情報の公開についての従来の考え方を、改める必要があるとも指摘されている[1]。

そこで本研究では、プライバシー意識と Facebook におけるプライバシー設定の差が、上記のようなトラブルを引き起こす一因と仮定し、大学生における Facebook の利用動向を調査・分析した。なお、本研究におけるプライバシー設定とは、「プロフィール登録した生年月日や連絡先、投稿した近況や写真などの情報をどのユーザーにまで公開するかを設定すること」であり、各項目に対して、「すべてのユーザー」、「友達の友達」、「友達のみ」など、情報を公開する範囲を決めることができる設定を指す。

その結果、プライバシー意識とプライバシー設定の間には差が見られ、プライバシー設定の度合いには、プライバシー意識が反映されない項目があることが明らかとなった。

### 2. Facebook における利用動向調査概要

2012年7月3日～7月4日、青山学院大学社会情報学部 1、2 年生（男性：120 名、女性：117 名）を対象に、Google フォームを用いて、プライバシー意識の度合いとプライバシー設定の度合いの関係性をアンケートによって調査・分析した。

なお、プライバシー意識を図る尺度として、佐藤(2009)が開発した、インターネット版プライバシー尺度 (Multi-dimensional Privacy Scale for Internet users; 以下 MPS-I) を用いた[2]。

MPS-I とは、個人情報、①友人関係や悩み事などに関する「自伝的情報カテゴリ」、②出身地や職業などに関する「属性情報カテゴリ」、③住所や本名などに関する「識別情報カテゴリ」、④暗証番号やパスワード等に関する「暗証情報カテゴリ」に分類し、それぞれのカテゴリに対して、プライバシー意識を図る尺度である。

本調査では、それぞれのカテゴリ内の項目におけるプライバシー意識の度合い（知られたい、どちらかというところ知られたい、どちらかというところ知られてもよい、知られてもよい）を尋ね、それぞれ数値化（3、2、1、0）した。同様に、プライバシー設定の度合い（非公開、一部のみにみられる限定公開、誰もがみられる公開設定、設定を一度もしたことがない）も尋ね、それぞれ数値化（3、2、1、0）した上で、それぞれのプライバシー意識と設定の度合いにおける、相関係数を算出した。

なお、本論文では、自伝的情報カテゴリ、識別情報カテゴリ、各カテゴリ内の平均とプライバシー設定の相関係数について述べる。

### 3. プライバシー意識と設定の関係性

#### (1) 自伝的情報におけるプライバシー意識と設定の相関

自伝的情報における、プライバシー意識の度合いとプライバシー設定の公開度合いの、相関係数を算出した。プライバシー意識と設定における相関係数が正の場合、プライバシー意識の高さとプライバシー設定の（限定公開の）度合いが正の相関にある。

その結果、自伝的情報カテゴリにおけるプライバシー意識とプライバシー設定の間には、有意な相関がほとんど見られなかった。また、「友人関係」に対するプライバシー意識と Facebook における「友人」のプライバシー設定の間においても、有意な相関は見られなかった。つまり、設定に関わる、プライバシー意識とプライバシー設定の関係性においても、差が見られた（表 1）。

Studies on the behavior of Facebook and the privacy conscious among university students

-A case study in undergraduate students of Aoyama Gakuin University, school of social informatics -

<sup>†</sup> Kazuya Takahashi, Ryo Ueno, Graduate school of Social Informatics, Aoyama Gakuin University

<sup>‡</sup> Yasuhiro Iijima, School of Social Informatics, Aoyama Gakuin University

表 1 自伝的情報におけるプライバシー意識と設定の相関

設定	意識	過去の恋愛	病歴	閲覧したサイト履歴	友人関係	普段の生活パターン	過去の出来事	買い物の履歴(ネットショッピング等)	悩み事	性的なこと	思想信条	生い立ち
顔写真		-0.009	-0.038	-0.103	0.072	0.022	0.067	0.072	-0.005	-0.028	-0.010	0.144
投稿(発言内容)	0.049		-0.027	-0.022	0.059	* 0.178	0.107	0.137	0.041	-0.052	0.092	* 0.179
投稿(写真、動画)	0.134	-0.046		-0.107	0.031	0.149	0.142	0.108	0.002	-0.038	0.111	0.125
学歴	0.032	0.057	-0.016		0.103	0.157	0.144	* 0.201	0.062	-0.017	0.107	0.161
出身地	0.041	-0.002	-0.012		0.131	0.190	0.136	0.166	0.088	-0.069	0.079	0.139
友人(他の人が自分の友人について確認可能か)	-0.057	-0.099	-0.041		0.067	* 0.092	-0.021	0.084	-0.035	-0.130	-0.080	0.038
名前	-0.067	-0.150	-0.160		0.054	0.057	0.017	-0.138	-0.044	** 0.263	0.000	-0.025

\* p<0.05, \*\* p<0.01, \*\*\* p<0.001

(2) 識別情報におけるプライバシー意識と設定の相関

識別情報における、プライバシー意識の度合いとプライバシー設定の公開度合いの、相関係数を算出した。識別情報におけるプライバシー意識とプライバシー設定の公開度合いにおいては、「本名」に対するプライバシー意識と「学歴」における、プライバシー設定等に有意な正の相関が見られた。

その一方で、「顔写真」や「名前」に対するプライバシー意識とプライバシー設定には、有意な相関が見られなかった(表 2)。自伝的情報と同様、設定に関わるプライバシー意識とプライバシー設定の関係性においても、差が見られた。

表 2 識別情報におけるプライバシー意識と設定の相関

設定	意識	住所	容姿、顔写真	本名	会社名、学校名
顔写真		-0.091	0.041	* 0.197	* 0.181
投稿(発言内容)	-0.047		0.125	0.153	* 0.212
投稿(写真、動画)	-0.090		0.057	0.119	0.080
学歴	0.015		0.146	** 0.235	* 0.227
出身地	-0.058		0.115	0.183	** 0.234
友人(他の人が自分の友人について確認可能か)	-0.097		0.002	0.029	0.077
名前	* -0.225		0.076	0.115	0.065

\* p<0.05, \*\* p<0.01, \*\*\* p<0.001

(3) 各カテゴリにおけるプライバシー意識と設定の相関

MPS-I の各カテゴリにおける項目の得点の合計を項目数で除し、各カテゴリの得点とした。その上で、各カテゴリにおけるプライバシー意識とプライバシー設定の相関係数を算出した。

その結果、属性情報におけるプライバシー意識とプライバシー設定の幾つかの項目で、有意な正の相関が見られた。その一方で、暗証情報における、プライバシー意識とプライバシー設定には、有意な負の相関が見られた。

また、自伝的情報、識別情報におけるプライバシー意識とプライバシー設定には、有意な相関がほぼ見られなかった。

表 3 各カテゴリにおけるプライバシー意識と設定の相関

設定	意識	自伝的情報	属性情報	識別情報	暗証情報
顔写真		0.028	* 0.208	0.129	-0.139
投稿(発言内容)	0.096		** 0.274	0.159	-0.108
投稿(写真、動画)	0.080		* 0.204	0.070	-0.031
学歴	0.127		0.253	* 0.213	-0.012
出身地	0.115		* 0.270	0.172	* -0.225
友人(他の人が自分の友人について確認可能か)	-0.018		0.135	0.018	* -0.227
名前	-0.081		0.171	0.041	*** -0.370

\* p<0.05, \*\* p<0.01, \*\*\* p<0.001

4. おわりに

本研究によって、個人情報におけるプライバシー意識の中には、Facebook におけるプライバシー設定に影響を与える意識と影響を与えない意識があることが、明らかになった。具体的に明らかとなった点は、以下の2点である。

①「出身地」に対するプライバシー意識とプライバシー設定の間に有意な正の相関が見られ、設定に影響を与えるプライバシー意識があることが、明らかとなった。

②「友人」、「顔写真」、「名前」に対するプライバシー意識と Facebook におけるプライバシー設定の間には、相関が見られなかった。このように、設定に関わるプライバシー意識とプライバシー設定には差が見られた。

今後の研究課題としては、①より多くの母集団における、プライバシー意識とプライバシー設定の関係性の分析、②プライバシー設定に影響を与える他要因の分析の2点が挙げられる。

参考文献

[1]D. J. ソロブ「プライバシーに無分別な若者」『日経サイエンス』, pp. 88-94, 2008.  
 [2] 佐藤広英「インターネット利用者のプライバシー意識に関する研究」『財団法人社会安全研究財団 2009 年度若手研究助成優秀報告書』, pp.5-35, 2009.  
 [3]高橋一哉, 上野亮, 飯島泰裕「日米韓における大学生の Facebook 利用動向に関する研究」『情報処理学会第 74 回全国大会講演論文集』, 2012